ほっと ホット フォトニュース

桜馬場地区村づくり委員会が門松を制作

■12月27日、桜馬場地区村づくり委員会が桜山小学校近くの交差点に門松を製作しました。会を構成する公民館（桜馬場、宇都、小園、松下、山口）から代表して８名がまちおこしの一環として行い、見事な門松が完成しました。

木口屋集落で自然花まつりを開催

■12月17日、木口屋集落で子育てふれあいグループ自然花主催の「自然花まつり」が開催されました。枕崎舞炎鰹によるよさこいやFAMのダンスのほか、餅つきやさまざまな工作体験などに多くの親子が楽しんでいました。

そまんずしづくりで世代をこえて交流

■12月16日、別府校区で年末の恒例行事となっている「そまんずしづくり」が別府地区公民館で開催され、150人以上が参加しました。

別府中学校で恒例の門松づくり

■12月23日、別府中学校で毎年恒例となった門松づくりが行われました。
今年卒業を迎える３年生や先生、地域の方々が協力し、見事な門松が設置されました。

大谷翔平選手ありがとう！
～グローブセットの寄付に子どもたちの笑顔広がる

１月初め、本市教育委員会にメジャーリーグで活躍する大谷翔平選手からのグローブが届きました。
「野球しようぜ！」の写真入りメッセージカードが添えられたジュニア用グローブセット（右利き用2個、左利き用1個）が市内４小学校に配布され、たくさんの子どもたちが嬉しそうに手に取っていました。
立神小学校６年生で野球をしている築地莉玖さんは「いつも使っているものと形が違っていて、早く使ってみたいです。このグローブで、大谷選手とキャッチボールをしてみたいです」と話してくれました。
今後は、それぞれの学校で体育の授業や展示など、多くの児童が触れられる形で使用される予定です。

100歳おめでとうございます
～今給黎俊さん（木場町）

１月16日に今給黎俊さんがめでたく100歳の誕生日を迎え、市と社会福祉協議会から花束と祝い金が贈られました。
いちき串木野市出身の今給黎さんは４人の子宝に恵まれ、若いころは鰹節工場で働いていました。趣味はハンヤ節などの踊りを踊ることという今給黎さん、長生きの秘訣は「体を動かすこととゲートボールを楽しんでいたこと」と話します。
（今給黎俊さんは１月28日にお亡くなりになりました。今回、ご家族のご意向により掲載しています。）

アリスさんの偉業をその目に
～長男ケビンさん家族がガンバリ号を訪問

12月29日から30日、単独で太平洋横断を成し遂げたアリス・オツジ・ヘイガーさんの長男にあたるケビン・ヘイガーさんとその家族が枕崎を訪れました。
ケビンさんの来日は３回目で、今回の訪問は観光と家族にアリスさんのルーツを見てもらうことを目的にしたもので、イルミネーションを施しさらにきれいな姿になったガンバリ号を感慨深く眺め、アリスさんとの思い出などを話してくれました。
ケビンさんは「ヨットがきれいになり嬉しく思います。ロケーションも良く、イルミネーションによってさらに特別な場所になったと感じました」と話しました。

水産加工業協同組合ミクロネシアに技術支援
～ミクロネシアの技術者が枕崎を訪問

枕崎水産加工業協同組合では、国際協力機構（ＪＩＣＡ）の草の根技術協力事業として、ミクロネシアで水産物を加工する際に発生する残滓（ざんさ）（残りかす）を現地の養豚飼料に活用するプロジェクトを進めています。
12月16日から20日の間、現地の技術者２名が枕崎を訪れ、残滓の再資源化施設の視察や食中毒の原因となるヒスタミンの検査手法など最新の技術を学びました。
来日した技術者のシチロウ・フィニーさんは「養豚の飼料問題解決や、ミクロネシアの水産加工施設で使用している日本製の機器の保守など、技術が進んでいる日本の協力が必要。今後も良い関係を築いていきたい」と話しました。

枕崎を題材にポスターコンテスト最優秀賞を受賞
～視点を変えて枕崎の魅力をＰＲ

視点を変えて地域の魅力を発信するポスターコンテスト「Rethink Creative Contest 2023」において、鹿児島県立短期大学生活科学科１年の西村秋風（あいか）さん（鹿児島市在住）の作品「空気でごはんがすすむまち」が、最優秀賞にあたるRethink PROJECT賞を受賞しました。
本市に亡き曽祖父母が住んでいた家があり、小さいころから訪れていたという西村さん。昨年枕崎の企業でインターンシップをした際、市外の方と枕崎の印象を話し「町のにおいが印象的」という意見に共感してポスターの着想を得たといいます。東京で開催された授賞式後の懇親会にはかつおパックを持参し、他の参加者に配布するなど枕崎のＰＲもしてくださいました。
西村さんは「今後も枕崎の活性化に貢献していきたいです」と話しました。

◀受賞した作品。五感に訴えかける切り口が高く評価された